



今年の夏は記録的猛暑といわれていましたが、10月が近づきようやく過ごしやすくなりました。子どもたちは、所庭で入場行進や体操、リレーなど運動会の競技を楽しんでいます。今年度も遊びの中で経験したことや興味のあることから種目を考えています。そして、子どもたちが楽しんで参加し、競い合ったり力を合わせたりしながら、様々な心が動く体験ができるよう保育を行っています。当日は、保護者の皆さまもお子さんと一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

また、今後は引き続き、運動会ごっこを楽しんだり、散歩にも出かけ秋の自然に触れる遊びを楽しんだりしていきたいと思います。過ごしやすいこの時期にしっかりと体を動かして遊んでいきます。

10月の行事予定

- 1日(水) 運動会リハーサル(所庭)
- 4日(土) 運動会★
- 〃 保育所開放日
- 6日(月) 身体測定週
- 8日(水) 一日保育士⑥(3歳児以上)
- 10日(金) 不審者侵入対応訓練
- 13日(月)(祝) スポーツの日
- 14日(火) 幼児触れ合い体験学習①(3・4・5歳児)
- 15日(水) 秋の遠足★
- 〃 弁当の日
- 16日(木) 保育所開放日
- 17日(金) 一日保育士⑦(3歳児以上)
- 〃 避難訓練
- 20日(月) 集金日
- 21日(火) 出雲市保幼小交流日
- 22日(水) 幼児触れ合い体験学習②(3・4・5歳児)
- 23日(木) 中部保育所とのさつま芋掘り
(5歳児 於: 東福町芋畑)
- 24日(金) 誕生会
- 〃 内科健診①(ぞう・うさぎ・ひよこ組)
- 25日(土) 土曜共同保育(当所)
- 27日(月) サッカー教室(5歳児)
- 〃 内科健診②(きりん・くま・りす組)
- 28日(火) 中部保育所とのさつま芋掘り(予備日)
- 30日(木) 収穫祭

★印の行事につきましては後日お便りで詳しくお知らせします。

11月の主な行事

- 4日(火) 平中校区一斉あいさつ運動
- 5日(水) 焼き芋会<ふれあいデー>
- 6日(木) ★一日保育士①(2歳児以下)
- 18日(火) ★一日保育士②(2歳児以下)

お知らせ・お願い

●幼児触れ合い体験学習について(14日・22日)

平田中学校3年生が「ふれあい体験」の学習で来所し3・4・5歳児の子どもたちが交流します。

●内科健診について(24・27日)

嘱託医の及川医師に健診をしていただきます。当日保護者の方の付き添いはいりません。結果につきましては連絡帳でご確認ください。

●履物について

今月からは散歩に出かける機会が増えますので、サンダル等はやめてズック(サイズが足に合い、脱ぎはきがしやすいもの)をはいて登所しましょう。



職員出張・研修のお知らせ ※印は午後からの研修

- 2日 聴覚障がい早期教育研修会～岡由美子(Web)
- 9日※主任保育士・主幹保育教諭研修会～森脇(Web)
- 24日 中四国小学校体育研究大会～樋野



うさぎ組



きりん組



ひよこ組



くま組

保育の様子

指先の運動・かけっこ・巧技台やマット登り・体幹を鍛える運動など体を動かして遊んでいます。



りす組



子ども元気アップ事業

ぞう組
講師の先生を招いて体を動かす楽しさやエコ活動について教えてもらいました。



ミニエコ講座

○保育目標～体を動かして遊ぼう

運動会に期待を膨らませながら、戸外で思いきり走ったり友だちと一緒に集団遊びをしたりして、体を動かす遊びを楽しみます。それぞれの年齢に応じた体の発達を意識して運動あそびを取り入れ、様々な動きを楽しく経験できるようにします。

～秋の自然にふれて遊ぼう

遠足や芋掘りなど、戸外に出かけ自然に触れる体験をします。また、近くの公園へ散歩にでかける機会を持ち風の心地よさを感じながら歩いたり、木の実や虫、秋の草花を見つけたり、香りを感じることで五感を通して興味や関心を広げたいと思います。

○生活目標～物を大切にしよう

運動会では体育用具などを使う機会が増えます。子どもたちと一緒に、その用具や、日頃から遊んでいる玩具や絵本の点検をしたり片付け方を確認したりして、物を大切にすることを育てたいと思います。

ほっとルーム



～今しかない子どもたちとの時間を共に～

9月13日(土)に高橋臨床心理士を迎え、「乳幼児期に大切にしたいこと～こころ育ち・こころ育ての視点から～」という演題で保護者会連合会主催の講演会がありました。

講演の中で、印象に残ったことは、子どもが思春期を迎え悩んだ時に保護者にとって『乳幼児期にこんなに関わったという実績や自信が思春期の関わりを支える』という言葉でした。

そして、今回の講演で乳幼児期は、子どもが「自分を通したい」「自分でしたい」など様々な気持ちで泣いたり怒ったりしている時に、保護者は近くで子どもが自分で気持ちを切り替えられるように、見守る・見届ける・認めることが大切だと教わりました。子どもが、このように葛藤している時は、感情のコントロールの練習をしています。自分の気持ちなので自分で自分の感情を調整するしかありません。この時の保護者が見守るとは、突き放すことや無視することとは違い、ここまではできるけど、ここからはダメという枠組みを分かりやすく伝え一緒に考えることです。大人と共に、この心の作業を繰り返すことが、子どもの心の「自立」と「自律」へ繋がります。「大丈夫、ここにいるよ。」と伝えながら、見守ってくださいということでした。

忙しい毎日だとは思いますが、大人がすぐに答えを出してしまわずに、「今はダメだけど〇〇だと〇〇できるかな?」「どうしたら叶えられるのかな?」など、子どもの様子を見たり、言葉を聞いたりしながら一緒に考える時間が持てるとよいですね。